

ICA京都 | はじめての海外グループ・スタディ・ツアー2026 | マレーシア編 | パイロット版



ICA京都「はじめて」の海外グループ・スタディ・ツアーとは？

海外渡航経験や外国語能力に関わらず、はじめて異なる社会や文化と向き合う学生のための短期集中型プログラムです。このツアーでは作品制作を目的とせず、体験してみるとこと、観察すること、問い合わせ立てること、対話を重ねることを通して、世界との距離を自分自身の問題として引き寄せるための導入的な学びの場となります。

なぜ国外での経験が必要なのか 🌎 ?

国外での経験は、特別な知識や能力を身につけるためだけのものではありません。異なる言語や文化、社会の中に身を置くことで、自分がこれまで当たり前だと思っていた価値観や考え方が、特定の環境や歴史の中で形づくられていたことに気がつける可能性があります。このツアーを通して、そうした「ずれ」や戸惑いを身体的に経験し、世界との距離を測り直すことは、今後の学びや実践、そして芸術やデザインを通して国内外の社会に貢献してくための出発点になると考えています。

なぜ、東南アジアにあるマレーシアなのか 🇲🇾 ?

マレーシアは、多民族・多宗教社会として、交易や植民地支配、移民の歴史が重なり合いながら形成されてきた国です。ペナン、イポー、クアラルンプールという各都市を巡ることで、社会や文化の多層性を立体的に捉えることができます。身近な生活・食文化から歴史的背景までを横断的に体感できる点が、本プログラムの学びに適していると考えました。



実施概要

グループ・スタディ・ツアー先 ➡ ペナン [ジョージ・タウン]、イポー、クアラルンプール

開催日時 ➡ 2026年3月6日(金)～12日(木)(6泊7日／うち、機内で1泊含む)(予定)

対象 ➡ 京都芸術大学に通学部に在籍する学部生、および大学院生／計5名程度

参加費用 ➡ 渡航券代・現地食費を参加者=実費負担(ICA京都=現地移動費、宿泊費、海外保険を負担)

成果発表 ➡ 帰国後に報告会やレビュー執筆等を予定(参加者全員で相談して決定)

選考方法・スケジュール

応募フォームに記載された内容をもとに書類選考を行い、必要に応じて面談

(対面)を実施したうえで、参加者を決定します。

※語学力や海外経験を重視する選考ではありません。

書類審査結果発表 ➡ 1月22日(木)

面接 ➡ 1月27日(火)※対面を予定、時間は追って調整

最終審査結果発表 ➡ 1月28日(水)

顔合わせ&航空券取得ミーティング ➡ 2月2日(月)※時間は追って調整



旅程(変更の可能性あり)

1日目 [3月6日]

➡ 関西空港集合・出発 ➡ | ペナン国際空港に到着 ➡ (宿へ直行 [ジョージ・タウン])

2日目 [3月7日]

➡ アート関係者との交流 | 市内文化施設・アートスペース訪問 | アート関係者とのディナー

3日目 [3月8日]

➡ アート関係者との交流 | 市内文化施設・アートスペース訪問

4日目 [3月9日]

➡ イポーに移動 [早朝] | 市内文化施設・アートスペース訪問 | アート関係者との交流

5日目 [3月10日]

➡ クアラルンプールに移動 [早朝] | 市内文化施設・アートスペース訪問 | アート関係者との交流

6日目 [3月11日]

➡ 市内文化施設・アートスペース訪問 | クアラルンプール国際空港より出発 ➡ [夕方以降] (機内泊)

7日目 [3月12日]

➡ 関西国際空港到着 ➡

実施概要

応募方法 ➡ WEBに記載のGoogleフォームからご応募ください

応募締切 ➡ 2026年1月19日(月)17:00



海外グループ・スタディ・ツアーや 通して自分を知る

海外での経験は、世界を理解するためだけでなく、自分自身の前提や立ち位置を問い合わせ直す機会でもあります。異なる社会や価値観の中に——たった1週間だとしても——身を置くことで、これまで無意識に拠り所としてきた考え方や判断の枠組みが相対化される可能性があります。

本ツアーや、その揺らぎを急いで回収するのではなく、あくまで興味や疑問を抱くためのきっかけです。そこで生まれた違和感や思考の痕跡を持ち帰り、今後の学びや実践へとつなげていくことを目指します。